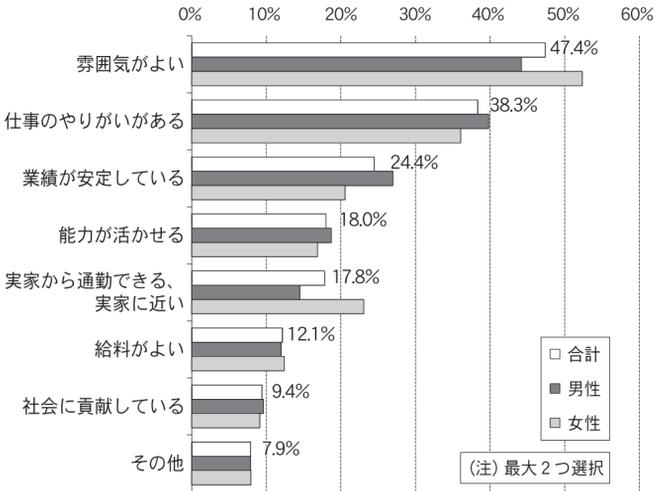


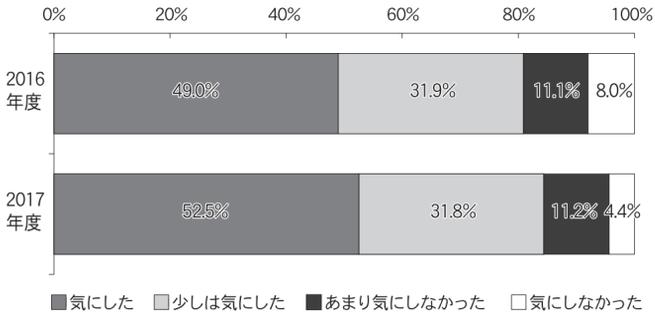
自分ファースト志向高く、理想の上司は「寛容型」

2017年新入社員意識調査アンケート(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

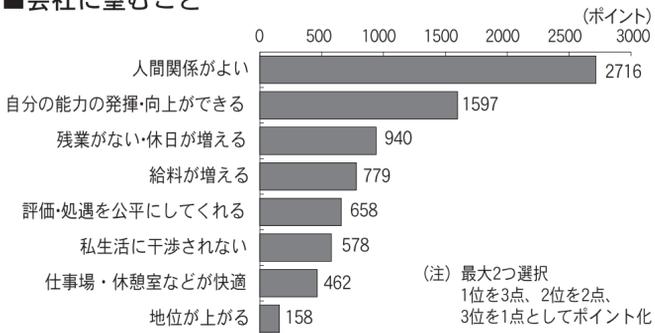
■今の会社を選んだ基準



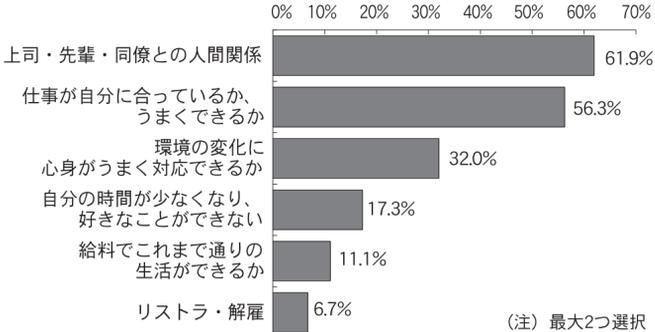
■就職活動の際、「ブラック企業」を気にしたか



■会社に望むこと



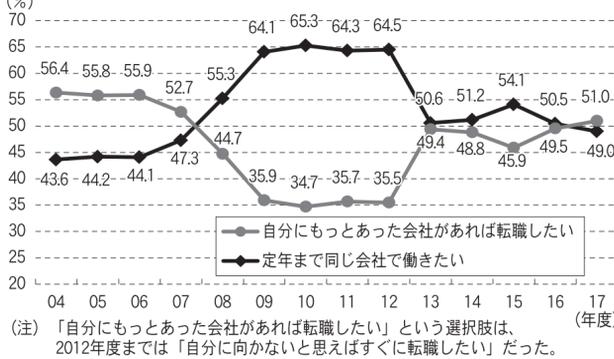
■仕事・職場生活に関する不安



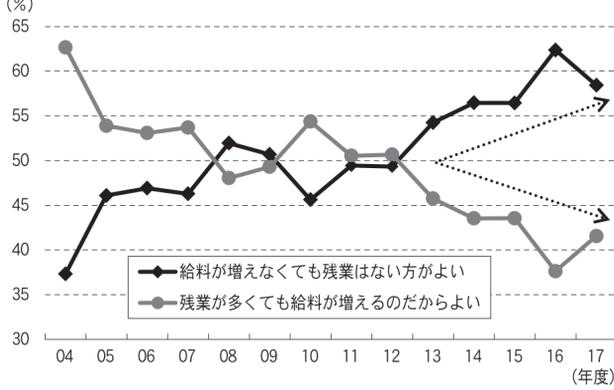
■自分に自信があるもの・欠けているもの



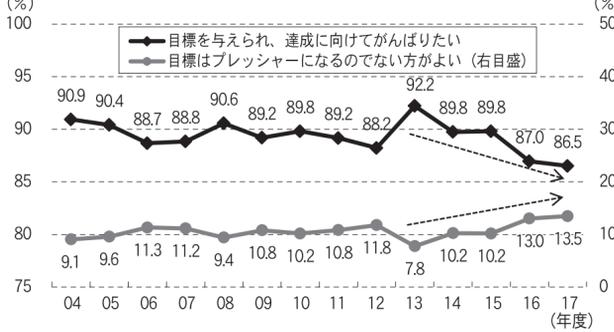
■就労意識



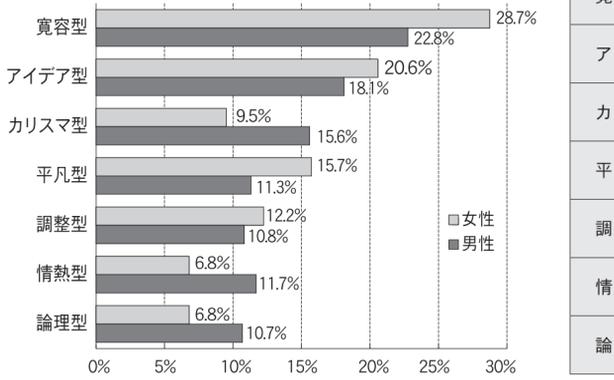
■残業に対する考え方



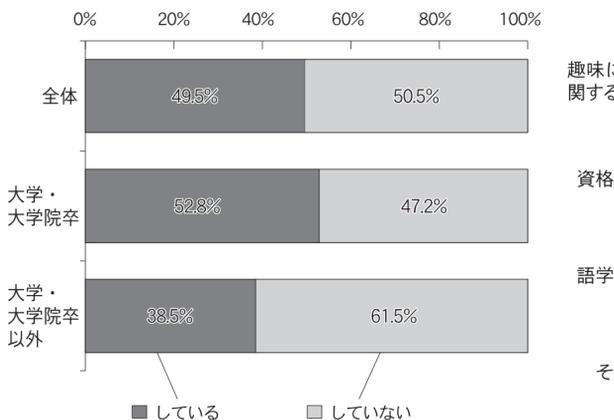
■目標設定は必要か？



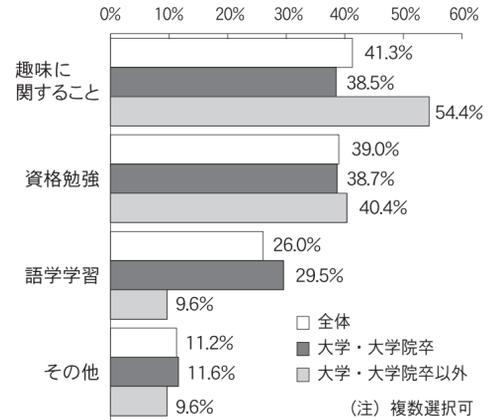
■理想の上司



■能力向上のために何かしているか



■能力向上のためにしていること



企業コンサルティング、マクロ経済調査などを提供する三菱UFJリサーチ&コンサルティング(東京都港区麻井秀延社長)はこのほど、同社が実施した2017年の新入社員意識調査の結果を発表した。

同社は毎年3月下旬、4月上旬に新入社員を対象とするセミナーを東京、大阪、名古屋で開催。調査は、その受講者を対象に実施したアンケートの結果、1,533人から回答を得た。

調査では「新入社員は企業に「給料が増える」ことより「残業がない・休日が増える」ことを求めている結果が出た。私生活に干渉されない

協調性あり、創造力なし

この重要性が高まり、一定時間は仕事から離れてオフを過ごしたい「自分ファースト」志向が高まったことを指摘している。

会社を選んだ基準は「雰囲気が良い」が47.4%で最も多かった。

就職活動の際にはブラック企業を気にしたかについては、52.5%(前年比3.5%増)が気にしたと回答し、約半数を占めた。

会社を望むことは、「人間関係が良い」が最も多かった。

仕事、職場生活に関する不安については、上司、先輩、同僚との人間関係が最も多かった。自分に自信があるもの、欠けているものは、最も自信があるものは「協調性」で、最も欠けているものは「創造力」だった。

就労意識は「自分にもっとあった会社があれば転職したい」が「定年まで同じ会社で働きたい」を10年ぶりに上回った。

理想の上司については、男性、女性とも「寛容型」が最も多く、「アイデア型」が続いた。能力向上のためにしていることは、大学・大学院卒は「資格勉強」、大学・大学院卒以外は「趣味に関すること」が最も多かった。

